



# ACTIVITY REPORT 主な議員活動報告(昨年10月以降)

## 2017年(平成29年)

- 10月6日 東八代広域行政事務組合議会 定例会
- 10月18日~20日 市議会 経済建設委員会 行政視察(山形、宮城、埼玉)
- 10月26日 市議会 経済建設委員会 市道・横沢通り視察  
静岡市議団と会派「創政こうふ」の意見交換会
- 10月27日 市議会 リニア中央新幹線調査研究会
- 11月14日 自民党山梨県連青年部 中央研修会(東京・国会議事堂周辺)
- 11月15日~17日 会派「創政こうふ」行政視察(広島、岡山)
- 11月18日 向山のりとし 市政活動報告会(甲府市総合市民会館)
- 12月4日~15日 市議会 12月定例会 ※一般質問 向山憲稔登壇
- 12月9日 向山のりとし後援会主催「第2回グラウンドゴルフ大会」
- 12月26日 リニア新駅周辺整備に関する地元要望書を県・市・JR東海へ提出(大津・西下条・高室の三町合同による要望書提出に同行)

## 2018年(平成30年)

- 1月19日 大國地区高齢者学級 ※向山を含む3市議の講演会
- 1月30日 市議会 リニア中央新幹線調査研究会
- 2月1日 公共交通政策や子どもの貧困対策について行政視察(岐阜)
- 2月9日 地方議員研究会 財政に関する研修会(東京)  
甲府青年会議所主催シンポジウム(ジッ甲府プラザ)  
※パネリストとして参加
- 2月15日~16日 会派「創政こうふ」行政視察(埼玉)
- 2月27日~3月23日 市議会 3月定例会
- 3月27日 東八代広域行政事務組合議会 定例会
- 4月10日 会派「創政こうふ」上九一色地区で現地視察、住民の皆さんと意見交換
- 5月10日~11日 日本自治創造学会 第10回研究大会(東京・明治大学)
- 5月14日 民泊事業や企業主導型保育所について研修会  
(東京・衆議院第二議員会館)
- 5月24日 市議会 リニア中央新幹線調査研究会
- 5月27日 自民党山梨県連青年部主催「若者フェス」  
※シンポジウムのパネリストで参加
- 6月4日~15日 市議会 6月定例会 ※一般質問 向山憲稔登壇
- 6月18、20、22日、7月3日 住民対話集会「甲府の未来を語る会 in 国母」  
(甲府市南西地域懇話会主催)
- 7月4日 未来の山梨を拓く議員の会(来山会) 研修会(山梨県議会議事堂)
- 7月6日 荒川ダム周辺にて現地視察、住民の皆さんと意見交換
- 7月8日 身体障がい者団体の皆さんと議員の意見交換会(山梨県福祉プラザ)
- 7月11日~13日 会派「創政こうふ」行政視察(徳島、香川)
- 7月17、20、23、24日 住民対話集会「甲府の未来を語る会 in 大國」  
(甲府市南西地域懇話会主催)
- 8月5日 山梨クィーンビーズ後援会甲府市支部 総会(甲府市勤労者福祉センター)
- 8月8日~10日 全国市町村国際文化研修所「地方議員のための政策法務」受講
- 8月28日 東八代広域行政事務組合議会 定例会
- 8月31日~9月27日 市議会 9月定例会
- 9月15日 山梨クィーンビーズ後援会甲府市支部 選手激励会(甲府・かいてらす)



- 各地の夏祭りや納涼会でご挨拶
- 県立リニア見学センターを視察
- 子どもの貧困問題に取り組む「フードバンク山梨」の活動を応援しています
- 学校評議員として甲府西高の卒業式に出席
- 山梨冬季国体の開会式に出席して山梨選手団を激励
- バスケットボール女子「山梨クィーンビーズ」を応援する企画展を市役所で開催しました



## PROFILE

### [プロフィール]

昭和59(1984)年7月17日  
甲府市大里町のスーパー「シーサイド向山」の長男として誕生

平成3(1991)年  
社会福祉法人 大鎌田保育園 卒園

平成9(1997)年  
甲府市立 大國小学校 卒業  
大國ミニバスケットボールクラブに入団し、バスケを始める

平成12(2000)年 甲府市立 上条中学校 卒業  
祖父・向山正郎の「政治が社会の基礎をつくる」という話がかきつけて政治に興味を持ち、政治家を目指すようになる

平成15(2003)年 山梨県立 甲府西高等学校 卒業  
県内屈指の強豪校で、バスケットボール部キャプテンを務める

平成19(2007)年 明治大学 政治経済学部政治学科 卒業  
大学2年の夏から議員秘書研修を経験  
萩生田光一衆議院議員(自民党・東京24区)事務所での政治の一端を学ぶ

平成19(2007)年 山梨日日新聞社 入社  
社会部として事件事故取材にあたったほか、地域の行政取材を担当する  
警察取材や裁判だけでなく、山梨県内の社会情勢を幅広く取材・報道する

平成26(2014)年 山梨日日新聞社 退社  
政治の道を志して活動を始める

平成27(2015)年 甲府市議会議員 初当選  
「地盤・看板・靴」のない選挙戦の中、5012票をいただき初当選



## SUPPORTERS CLUB

サポーターズクラブ(後援会)  
メンバー募集中! **会費無料**

「向山のりとし」の活動を支えるメンバーを募集しています。

入会した方には、活動報告書や後援会からのお知らせをお送りいたします。支援の輪を広げるため、既に入会している皆様は、ご友人やお知り合いを紹介いただければ幸いです。  
向山が目指す「日本一誇れる街」を創り上げるため、ご協力のほどお願いいたします。

### 問い合わせ

向山のりとし後援会事務所  
〒400-0053 山梨県甲府市大里町2051番地  
電話:055-225-6471  
FAX:055-225-6472  
携帯:080-7758-8021

E-mail: info@mukouyama-nextkofu.com  
HP: http://www.mukouyama-nextkofu.com  
facebook http://www.fb.com/mukouyama.nextkofu  
twitter https://twitter.com/nori\_muko  
noritoshi\_mukouyama

Facebook, twitter, Instagramで政治活動などの情報発信をしています!ぜひ一度ご覧ください。



## REAL VOICE

皆様の声を政治にいかします!  
向山の活動は皆様の  
“声”が原点です。

- 道路や側溝を補修してほしい。
- 動物園のリニューアル計画に要望がある。
- 街づくりに意見がある。

などなど、身近な問題から市政課題まで意見・要望をお聞かせください。市民の皆様のご意見ご相談を伺いますので、いつでも電話・FAX・メールでご連絡ください。  
無尽会や地域イベントのお誘いがあれば、調整した上で伺いします。お気軽にご連絡ください!

甲府市議会議員  
向山のりとし  
議会活動報告

日本一誇れる山梨を創る

2018年 秋号

Vol.4

2018 AUTUMN ISSUE

# 未来 NEXT

歴史と伝統を引き継ぎ  
未来へ続く  
新たな政治を甲府から。



### 政治家の発信力

「伝える」と「伝わる」には大きな差がある。

山梨日日新聞の風林火山に載っていた一文です。積極的に情報発信を続けても、受け手側にどのように伝わっているか、そこを想像しなければ一方通行で終わってしまうことがあります。  
政治への無関心、若年層を中心とした投票率の低下などが問題視されることがあります。そこには、政治・行政に関する情報を“発信する側(政治家)”の課題も隠れています。  
幅広い課題に対応し、政策を打ち出したとしても住民が理解しているか。伝えつつもりが伝わっていないことも多い。そのことを意識して、政

治活動する必要があります。  
今夏にホームページをリニューアルし、この度は議員活動などをまとめた機関紙「未来 NEXT vol. 4」を創刊しました。「より多くの人に政治家としての想いを届けたい」と考えて試行錯誤の日々です。機関紙を通じて皆様からの意見や要望を頂戴するとともに、皆様が政治・行政を考える機会となれば幸いです。

甲府市議会議員 向山憲稔



## SUPPORTERS CLUB NEWS

後援会ニュース ※後援会有志と向山が編集・構成。(敬称略)

### HPを全面リニューアル!

向山のりとし後援会のホームページを全面的にリニューアルしました。

向山が掲げる「7つの提言」をはじめ、これまでの議会発言や政治活動を見ることができます。市民の声、要望を向山に直接届けられる仕組みになっています。ぜひご覧いただき、ご感想をお寄せください。

また、「発信力の充実」を掲げて、向山はツイッターとインスタグラムを始めました。これまでのフェイスブックに加えて様々なツールを通じて、政治活動を発信していきます。

HP:<http://mukouyama-nextkofu.com>

facebook、Twitter、Instagram、YouTubeで「向山のりとし」を検索!

向山のりとし



PICK UP!

### 民生文教委員会の副委員長に就任!

甲府市議会の常任委員会が再編され、向山は新たに民生文教委員会の副委員長に就任しました。民生文教委員会は、教育や子育て支援、医療、福祉、介護に関係する部署が所管で「市民に一番身近な課題を審議する委員会」(向山)です。

甲府市は来年4月に中核市へ移行し、山梨県から保健衛生分野を中心に約2400の権限が移譲される上、旧相生小に保健所を新設します。民生文教委員会は、中核市移行に関わる多くの分野が所管で、本年度は多岐に渡って常に重要な委員会審議が続きます。

また、未来を担う子どもたちに関係する分野も所管となり、向山は「幅広いテーマで議論を深めて、市民目線の政策を実現したい」と意気込み、副委員長として「市民に有益な議論・審議がなされるように委員会運営に努めたい」と話しています。



### 住民の声を政策に! 市民対話集会を開催

向山を含む3市議でつくる「甲府市南西地域懇話会」は今年6~8月、地区別に市民対話集会を開催しました。延べ300人以上が来場して多種多様なテーマで意見交換を行い、3市議が協力して課題解決に努めることを約束しました。

懇話会は向山と小澤浩市議、藤原伸一郎市議の3人で構成。「市民の声を議会での議論に活かそう」と対話集会を企画し、6~8月に国母、大里の各地区で計12回開催しました。従来の活動報告会ではなく、出席者らの質問に答える形式で、道路補修やカーブミラー設置の地域要望に加え、人口減少対策や中心市街地活性化、リニアを活用したまちづくりなど幅広い議論が行われました。

今後は、継続して集会を開催するとともに、他地区でも同様の対話集会を開きたいと考えて、向山は「政治・行政を考える機会にしたい、住民の皆さんと協働してまちづくりを行うきっかけにしたい」と話しています。



## GENERAL INQUIRY 一般質問レポート

平成29年度12月定例会/平成30年度6月定例会  
各定例会にて、本会議の一般質問に立ちました。

### 平成29年度12月定例会

#### 1.リニア中央新幹線開通に伴うまちづくりについて

- 1 新駅周辺の市道などインフラ整備
- 2 水害対策
- 3 新駅周辺のまちづくりビジョン

#### 2.中心市街地の活性化策について

- 1 紅梅地区再開発ビル(ココリ)などこれまでの活性化策に対する樋口市長の評価
- 2 デュオヒルズ甲府(旧甲府銀座ビル)1階部分の商業スペース

PICK UP!

#### 補助金は何十億、中心市街地活性化の効果は?

「甲府の中心市街地には、『銀座ビル』と『ココリの商業床』という二つのボトルネック(※)が存在する」。2013年に、有識者でつくる「甲府タウンレビューチーム」が発表した報告書の一部。約50億円の補助金をつぎ込んだ再開発ビル「ココリ」と、空きビルとなっていた「甲府銀座ビル」が、活性化を妨げる要因であると指摘しました。

ココリ(旧パセオ)は、「中心市街地活性化の起爆剤」という期待を背負って2010年にオープンしましたが、撤退するテナントが相次ぎ、歩行量も想定以下。ココリが活性化の起爆剤になっているとは、お世辞にも言えない状況です。

一方、甲府銀座ビルは、長年にわたり空きビルの状態でしたが、3度の公売をへて地上14階建ての複合ビル「デュオヒルズ甲府」が今春にオープンしました。甲府市は、銀座ビル再開発のために新たに補助金制度を創設。総事業費約39億円のうち、国、県、市の補助金は約9億3700万円となっています。

1階部分は約100坪の商業スペースとなっており、飲食店、雑貨店や一般社団法人の事務所などが入居しています。補助金事業である以上、行政が関わりをもって「中心街全体の魅力向上」「にぎわいの創出」につなげていかなければなりません。

税金の使い道を決める行政に失敗は許されませんが、それ以上に、同じ失敗を繰り返さないことが大切です。市税だけでも約9億3千万円を投じたココリをはじめ、過去の活性化策の問題点を整理し、これから先の事業に生かすことが求められます。

「中心市街地の活性化」という旗印に惑わされず、費用対効果を踏まえて事業を評価し、議会で発言・提言していきます。

※ボトルネック =首が細い瓶のイメージから、中身がつかえることの例え。  
全体の円滑な進行や発展の妨げとなるような要因。

#### 3.少子高齢化社会に対応した自治会のあり方について

- 1 自治会の定義と課題
- 2 課題解決に向けた方策

#### 4.SNS時代における情報モラル教育について

動画は甲府市議会のHP(議会中継 <http://mngc.nns.ne.jp/bizlatweb/category-list.do>)で見られます。

### 平成30年6月定例会

#### 1.人口減少について

- 1 予測を上回る人口減少の要因
- 2 人口ビジョンなど人口予測の見直し
- 3 人口減少対策のあり方

#### 2.リニア中央新幹線の 新駅周辺開発について

- 1 リニア駅近接地域の整備方針(検討した経緯、発表方法)
- 2 住民や自治体との信頼関係の構築(これまでの評価と今後の方針)

#### 3.広報、情報発信について

- 1 甲府市の情報発信や広報などの評価(シティブロモーションや首都圏広報官など)
- 2 樋口市長の発信力の評価
- 3 今後の情報発信のあり方(専門広報官の提案)

#### 4.甲府市中心市街地活性化について

- 1 デュオヒルズ甲府(旧甲府銀座ビル)
- 2 甲府城周辺地域活性化計画

#### 6.子ども最優先の 部活動のあり方について

PICK UP!

#### 子どものための部活動改革を!

スポーツ庁は今年3月、時代や社会の変化に応じた部活動のあり方を検討し、活動を平日2時間、休日3時間程度までとし、週2日以上の休養日を設けるよう求めるガイドラインを策定しました。

「ブラック部活」という言葉が生まれる昨今、教員の多忙化解消の観点から、部活動のあり方に関する議論が行われてきました。一方で、教員の多忙化が中心の議論に違和感を抱いていました。多忙化解消を主眼にするあまり、子どもたちの部活・スポーツへの想いが置き去りにされていないか、各競技を追求したいという要望に応えられる環境整備が整っているのか、という点です。

部活動時間を減らすのであれば、同時に「今まで通りに練習したい」「試合に勝つために、どのチームよりも努力したい」という生徒の想いに応えてあげる環境整備が必要です。それも行政、学校の責務であるはずですが。

種目ごとにクラブチームやNPOが各地域に存在します。実際に、生徒のニーズに合わせて練習会を実施する動きもあります。ただ、地域に存在する専門的な知識を持った指導者が、まだまだ部活動に結び付いていないのが実情だと思います。

甲府市は昨年度から、外部顧問(部活動指導員)の制度を導入しました。引き続き、積極的に子どもたちの活動をサポートするとともに、子どもたちの声を聞くアンケートも実施するべきだと訴えました。「うまくなりたいたい」という生徒、逆に「軽い運動を楽しみたい」という生徒のニーズを把握して、個別に希望に沿った環境を整える方策を考える必要があります。

少子化がさらに進めば、複数校による合同部活動が当たり前になるかもしれません。通う学校によってスポーツの選択肢が狭まらないように努めるべきです。生徒の目線に立った部活動のあり方を研究しながら、提言を続けていきます。

PICK UP!

#### 人口減少は絶対に止まらない?!

今年2月、50年ぶりに甲府市の人口(住民基本台帳)が18万人台に落ち込みました。

さらに、国の機関が今年3月に発表した将来推計は、2045年に約14万6,000人まで人口が減少するという危機的な内容でした。前回調査より減少幅が大きくなっており、予測を上回るペースで人口減少が進んでいることが明らかとなりました。

甲府市は2016年に2060年までの甲府市人口ビジョンを策定しました。この中で示した推計人口は、各種計画に関わる重要なものであると認識していますが、現状のままでは目標値との差が広がるばかり。現実から目をそらして目標を掲げても、本当に実現できるのか疑問です。

東京大学大学院の金井利之教授は、「現代において少子化対策は既に手遅れ。必ず人口は減少する。だからこそ、人口減少に対応する作戦を同時に考えなければならない」と指摘しています。

本来、重要視するべきは人口減少・少子高齢化に対応した行政システム、地域社会の構築だと考えます。希望的観測の数字を設定するのではなく、「人口が下げ止まる場所」を的確に見出し、そこに向けた施策を提案し、実行に移すことが求められています。30年後を見据えた、本当の意味での人口減少対策を訴えていきます。

#### 5.開府500年の メイン事業について

#### 7.子育て世代への支援について

- 1 企業主導型保育所
- 2 在宅で育児を行う世帯への支援